



高齢歩行者の交通事故を防ぎましょう!

10月は、高齢者の交通事故防止対策(たっしゅけ気つけられ運動)月間です!

高齢歩行者の特性を理解し、思いやりのある運転を心がけましょう。



高齢歩行者の特性

横断するまでに時間がかかる場合があります

高齢者は、安全確認をしてから、実際に横断を始めるまでに時間がかかる傾向にあります。車の接近に気付かず横断を始める歩行者に注意しましょう。



判断を誤って行動する場合があります

高齢歩行者は、車が接近しても「車が止まってくれる」と思い込むなど、判断を誤って横断する場合があります。高齢者の動きに注意して走行しましょう。



横断中の安全確認をしない場合があります

道路を渡る前に安全確認をした後は、視線を足元に落とし、周りを見ないで横断する傾向にあります。

前方への注意を高め、横断者の早期発見に努めましょう。



運転者に、自分が見えていると思い込む場合があります

車のヘッドライトが眩しいので、「運転者は自分に気付いている」と思い、横断を始めることがあります。

こまめにライトの上下を切り替えて、早めに歩行者の発見に努めましょう。



スーパー、ドラッグストア、コンビニ、病院、銀行などの付近ではより一層の警戒を!

店舗等の駐車場内や、駐車場出入口では、運転者も歩行者も油断が生じやすく、事故が多発しています。周囲の車や歩行者に注意を払いながら、いつでも止まれるスピードで慎重に運転しましょう。



1 県内の交通事故発生状況(10月8日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	1320	17	1515
昨年	1362	24	1518

2 交通事故死者の年代別

年代	64歳以下	65歳以上	合計
死者数	5	12	17
構成率(%)	29.4	70.6	100

- 県警のホームページにも掲載しています。
- 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警HP参照)
- 二次元コードからSD情報のHPに直接アクセスできます。➔

